

令和元年 消防概況

■火災

		平成30年	令和元年	増減
火災 件数	建物火災	9	16	+7
	林野火災	0	2	+2
	車両火災	1	3	+2
	その他	5	1	-4
	合計	15	22	+7
死傷 者数	死者	2	1	-1
	負傷者	4	6	+2
損害額 (千円)		45,777	83,821	+38,044

▷火災の対策

住宅用火災警報器の設置の呼び掛けのほか、放火火災防止のための警戒巡視、不特定多数の方が利用する施設への立入検査および消防訓練の立ち会いなどを実施しています。

■救助

		平成30年	令和元年	増減
救助 件数	交通事故	15	9	-6
	その他	4	14	+10
	合計	19	23	+4
活動件数		12	18	+6
救助人員		14	19	+5

※その他…機械事故、火災など

■救急

		平成30年	令和元年	増減
救急 件数	急病	1,658	1,763	+105
	一般負傷	467	462	-5
	交通事故	174	186	+12
	その他	418	427	+9
	合計	2,717	2,838	+121
搬送人員		2,617	2,706	+89
1日平均		7.44	7.78	+0.34

▷救急搬送の傾向

救急搬送された2,706人の約70%が65歳以上の高齢者でした。

▷救急車の適正利用を

救急搬送された2,706人の約32%が、医師により軽症と診断されました。救急要請が重なることで重症の方への救急車の到着が遅れてしまい、救える命が救えなくなる原因となります。本当に救急車が必要な人の元へ1秒でも早く救急車を到着させることができるよう、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

3月1日(日)～7日(土)は春の全国火災予防運動

『ひとつずつ いいね! で確認 火の用心』 (2019年度全国統一防火標語)

住宅防火 命を守る7つのポイント — 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- ▷寝たばこは、絶対やめる。
- ▷ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ▷ガスこんろなどのそばを離れるときは、火を必ず消す。

4つの対策

- ▷逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▷寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐため、防災品を使用する。
- ▷火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ▷お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

林野火災にご注意ください

林野火災は春先に多く発生しています。降雨量が少なく乾燥する上、強風が吹く中で火入れが行われたり、山菜採りで入山者が増えることによるものと考えられます。林野での火気の取り扱いには十分注意しましょう。

【林野火災防止のための注意点】

- ▷燃えやすい枯れ草などのある場所でのたき火は絶対にやめましょう。
- ▷強風時および乾燥時には、たき火など屋外で火を取り扱うことは絶対にやめましょう。
- ▷たき火などをしている、火から離れるときは完全に消火しましょう。
- ▷たばこの吸い殻は必ず消しましょう。また、投げ捨ては絶対にやめましょう。

問 消防本部 (☎543119)